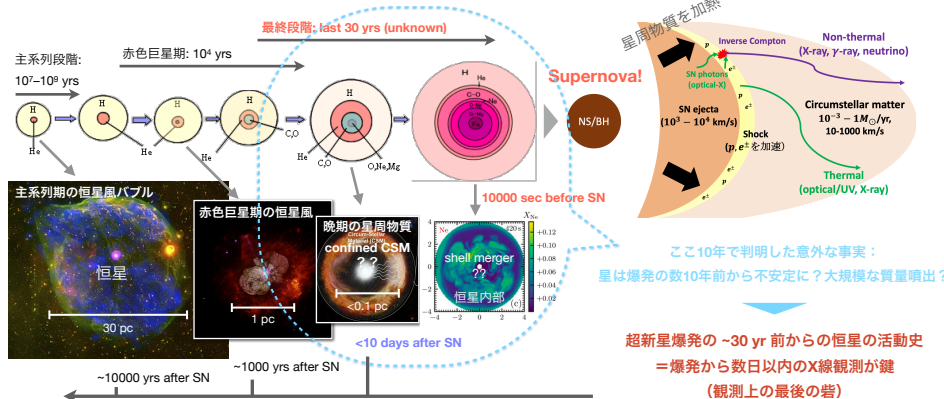
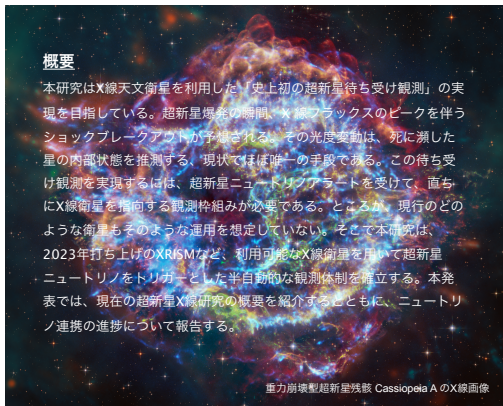


ニュートリノをトリガーとする X線による超新星「待ち受け観測」の実現

Hiroiyuki Uchida^[1] (uchida@cr.scphys.kyoto-u.ac.jp),

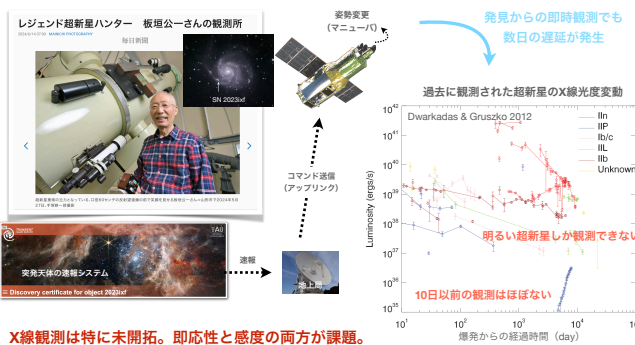
Yudai Suwa, Akihiro Suzuki (The University of Tokyo), Teruaki Enoto, Keiichi Maeda, Roger Wendell (Kyoto University), Hiromasa Suzuki (University of Miyazaki), Yoshiaki Kanamaru (ISAS/JAXA), Yusuke Koshio, Fumi Nakanishi (Okayama University), Motoyasu Ikeda, Yudai Suwa, Guillaume Pronost, Hiroiyuki Sekiya, Masayuki Nakahata, (The University of Tokyo)

最新の超新星爆発の研究と観測上の最後の砦：星の死の瞬間を捉える

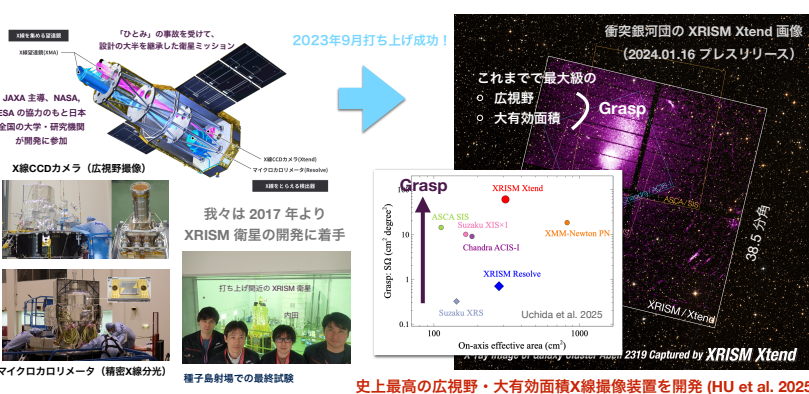


超新星の即時/即応観測の難しさ

超新星の発見はアマチュア天文家の貢献が大きい。爆発後の可視光の光度上昇を「偶然」捉える。

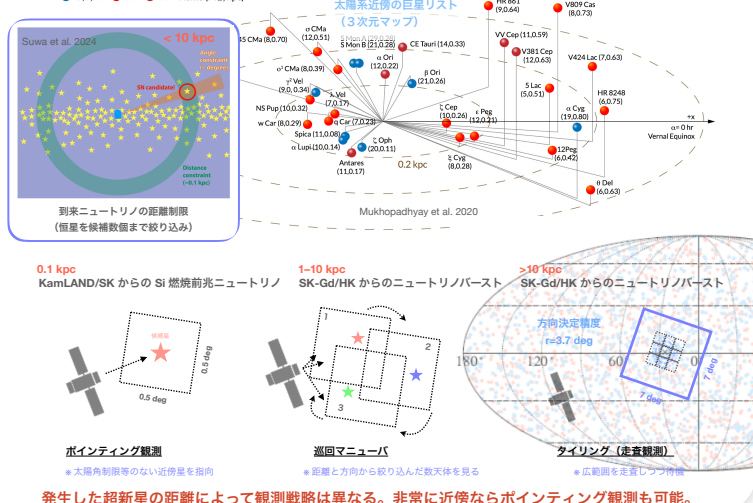
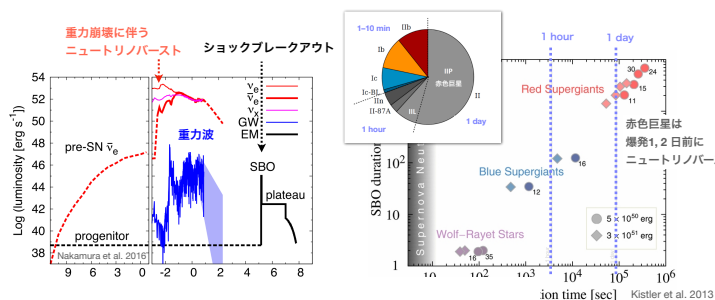


世界初の精密X線分光衛星 XRISM と Xtend (HU et al. 2025)



Xtend-SK 連携による超新星「待ち受け観測」実現

XRISM/Xtendの広視野とニュートリノ観測を連携すれば、史上初の超新星の待ち受け観測が可能に!

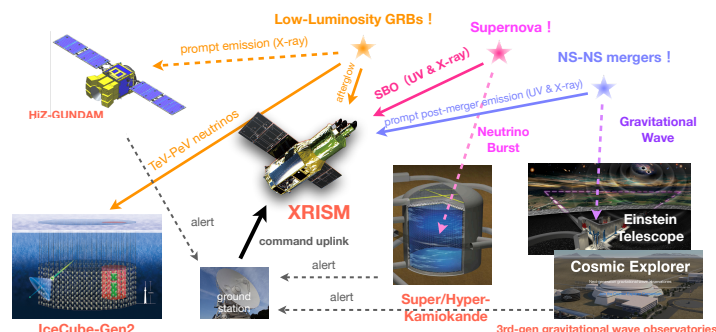


AMANE 結成と SK-SN convenersとの MoU 締結

X線での超新星即応のために Astro-Multimessenger Alliance for Neutrino and Ex-ray (AMANE) 結成。



将来のマルチメッセンジャー天文学へ向けて



超新星に限らない多様な突発天体 (e.g., 中性子星合体、ガンマ線バースト) の追跡観測のために重力波や高エネルギーニュートリノなどと連携してマルチメッセンジャー観測を目指す!